

平成28年度 社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会 事業報告

「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画に基づく事業計画に沿って、地域住民・関係諸団体並びに行政の理解と協力により住民参加を基軸とする事業を実施し、地域福祉の推進を図るために以下の諸事業に取り組みました。

1 法人運営事業

法人の経営強化を図り、地域福祉の推進の中核組織として役割を果たすための組織運営事業ほか、次の事業を実施しました。

(1) 社会福祉協議会の組織及び財政基盤の強化

会員制度を見直し、市民会員及び市民賛助会員に会員シールを発行し、市民が会員の組織であることを周知して、会員加入を明確にするとともに、会員の拡充を図った。

普通会費	市民会費	17,081世帯
	施設事業所会費	20施設（市内社会福祉施設、事業者連絡協議会）
賛助会員	市民賛助会費	813篤志家・事業所
	法人等賛助会費	6会社・組合の寮保養所、単位老人クラブ

(2) 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成28年 5月23日 (出席者 16名 書面表決 2名)	平成27年度 事業報告並びに会計決算の認定、評議員の選任の同意、顧問の委嘱について、第40回社会福祉大会の開催について
平成28年 6月1日 (出席者 14名)	会長・副会長の選任について、常務理事の選任について
平成28年 8月31日 (出席者 13名 書面表決 4名)	総合職職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)の専決処分の報告承認、専門職職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)の専決処分の報告承認、理事・監事選任規程の一部を改正する規程(案)、経理規程の一部を改正する規程(案)、平成28年度資金収支補正(案)の認定、健康福祉センター及び桜木デイサービスセンター指定管理者の募集の報告、介護予防拠点施設指定管理者の募集の報告、平成28年度会費の実績の報告、第35回ふれあい広場の実施
平成29年 1月30日 (出席者 15名 書面表決 2名)	副会長の選出、定款の改正、評議員選任解任委員会運営細則(案)、評議員選任規程の一部を改正する規程(案)、評議員選任解任委員の選任、評議員選任候補者の推薦、苦情解決第三者委員の選任、運営資金の短期借入、新健康福祉センターの移転及び開設
平成29年3月6日 書面による評決	評議員選任解任委員の選任について

平成29年 3月29日 (出席者 16名 書面表決2名)	臨時職員就業取扱要領一部改正の専決処分の報告承認、副会長の選出定款の一部改正(案)、平成 28 年度資金収支計算書補正予算(案)、平成 29 年度事業計画(案)、平成 29 年度資金収支計算書予算(案)の認定、苦情解決第三者委員の選任、評議員選任解任委員会の開催報告
------------------------------------	---

② 評議員会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成28年 5月23日 (出席者 31名)	平成28年度 事業報告並びに会計決算の認定、理事及び監事、顧問の選任(委嘱)の同意について、第40回社会福祉大会の開催について
平成28年 8月31日 (出席者 28名)	総合職職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)の専決処分の報告承認、専門職職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)の専決処分の報告承認、理事・監事選任規程の一部を改正する規程(案)、経理規程の一部を改正する規程(案)、平成 28 年度資金収支補正(案)の認定、健康福祉センター及び桜木デイサービスセンター指定管理者の募集の報告、介護予防拠点施設指定管理者の募集の報告、平成 28 年度会費の実績報告、第 3 5 回ふれあい広場の実施
平成29年 1月30日 (出席者 27名)	副会長の選出、定款の改正、評議員選任解任委員会運営細則(案)、評議員選任規程の一部を改正する規程(案)、評議員選任解任委員の選任評議員選任候補者の推薦、苦情解決第三者委員の選任、運営資金の短期借入、新健康福祉センターの移転及び開設
平成29年 3月29日 (出席者 30名)	臨時職員就業取扱要領の一部改正の専決処分の報告承認、定款の一部改正(案)、平成 28 年度資金収支計算書補正予算(案)、平成 29 年度事業計画(案)、平成 29 年度資金収支計算書予算(案)の認定、苦情解決第三者委員の選任、副会長の選出の報告、評議員選任解任委員会の開催報告

(3) 社会福祉法人連絡会の開催

市内社会福祉法人の連携・協力体制づくりを目的に、社会福祉法人の公益活動を進めるための情報交換及び連絡調整を行った。

①連 絡 会

1) 第 1 回連絡会

- ・開催日時 平成28年4月27日(水) 午後1時30分～午後3時00分
- ・場 所 伊東市保健福祉センター 2階 講習室
- ・出席者 市内 14 社会福祉法人(城ヶ崎いこいの里、伊豆高原十字の園、鑑石園、農協共済中伊豆リハビリテーション、子ども未来計画、栄光会、厚生保育会、恩賜財団済生会支部静岡県済生会、春栄会、心友会、珀寿会、伊東つくし会、クープ伊東市社会福祉協議会)
- ・内 容 合同職員研修の開催について

2) 第 2 回連絡会

- ・開催日時 平成28年10月25日(火) 午後1時30分～午後2時50分
- ・場 所 伊東市役所 5階 会議室
- ・出席者 市内 14 社会福祉法人
- ・内 容 旧国立重度障害者センター跡地利用について
社会福祉法人の社会貢献活動について
合同職員研修の開催について

3)職員研修実行委員会

- ・開催日時 平成28年7月28日（木）午後1時30分～午後3時30分
- ・場 所 伊東市保健福祉センター 2階 会議室
- ・出席者 市内12社会福祉法人 職員
- ・内 容 合同職員研修の開催について

②合同研修会

- ・開催日時 平成29年3月18日（土）午後1時30分～午後4時00分
- ・場 所 伊東市健康福祉センター 多目的ホール
- ・テ ー マ コミュニカントとしての援助者～〈いのち〉をアドボケイトするために～
- ・講 師 愛知教育大学名誉教授 増田 樹郎 氏
- ・参加者 80名

(4) 子ども子育て支援事業者連絡会の開催

社会福祉法人連絡会に参加する保育園などの子育て支援事業者により子育て支援の充実を目的に各法人施設からの課題を共有し、協働活動の連絡調整を図った。

- ・定例会の開催 8回（平成28年4月21日、5月24日、6月28日、8月1日、9月5日、10月3日、11月7日、平成29年1月7日）
- ・あたたか子育て支援策提案（8月24日（水）、13:00～ 市長公室）
子育て支援の現状と課題の解決方策としてまとめ、市長に提言書として提起した。
- ・地域貢献活動の実施（あたたかマタニティ支援）
子育て親子の相談支援などパンフレット250部を作成し、配布した。

(5) 苦情解決第三者委員会の開催

サービス利用者からの苦情に適切かつ迅速に対応し、解決を図るとともにサービス利用者からの苦情解決を密室化せずに円滑な解決を図る苦情解決第三者委員会を開催し、サービス改善を図った。

- ①開催回数 1回（平成29年3月6日（木）午後1時30分～午後2時50分）
- ②場 所 伊東市健康福祉センター 2階 多目的ホール
- ③出席者 第三者委員2名・事務局8名
- ④報告件数 5件（苦情4件、要望1件）

(6) 善意銀行の運営

市民からの貴重な寄附金品を福祉事業の財源、施設助成、要援護者の支援に活用した。

① 寄付金の受け入れ

寄付件数	寄 付 総 額
31件	900,052 円

② 物品の受け入れ

寄付件数	寄 付 物 品
15件	車椅子3台、納豆 1,164食、遺失物取得品102点、菓子・果物・缶詰、ヤクルト 3,230本、タオル439枚、ぞうきん80枚、介護用品（ポータブルトイレ、血圧計、4点杖）、プルタブ26kg、膝・肩掛け24枚

※物品の使い道：車いすの貸出、食品は市内社会福祉施設、遺失物はふれあい広場のバザー用品として使用したほか、タオルとぞうきんは災害への備えとして、保管した。

(7) 静岡県健康福祉大会への参加

平成28年10月7日(金)、静岡市民文化会館において、静岡県知事を大会会長に健康福祉県づくりの実現に向け、社会福祉並びに健康増進活動に功績のあった個人・団体として、本市から県社協会長表彰8名(民生委員1名、保護司1名、施設職員6名)が表彰され、民生児童委員関係者を含め18名が参加した。

(8) 広報活動

①社協だよりの発行

地域福祉の推進並びに本会の活動の理解を広めることを目的に年4回(9月、10月、12月、3月)“社協だより”を全戸配布(29,800戸)し、広報啓発を図った。

②ホームページによる情報提供

市民へ迅速に情報提供を行うためにホームページの活用を行った。

(9) 関係諸会議及び研修会への参加

職員の資質向上並びに人材育成のために以下の会議・研修に職員を派遣した。

①会長・事務局長関係会議・研修 2日 延べ 2名

(県市町社協会長会議、市町社協事務局長会議等)

②事務局職員関係会議・研修 25日 延べ 26名

(生活福祉資金貸付事業担当者会議、ファミリーサポート事業アドバイザー・子育て支援研修・ネットワーク全国講習会、共同募金事務担当者会議、生活困窮者自立支援事業研修会、生活困窮者就労支援研修会、総務担当者研修・会計担当者実務研修、決算実務研修、モデル経理規程等研修、改正労働者派遣法説明会、法人制度改革セミナー、生活支援コーディネーター養成研修)

③介護保険事業関係職員会議・研修 20日 延べ 25名

(介護支援専門員研修、介護保険事業者集団指導、障害福祉サービス事業者説明会、市社協介護保険部会、重度訪問介護従事者研修会)

④地域包括支援センター職員会議・研修 14日 延べ 15名

(主任介護支援専門員研修、認知症初期集中支援チーム、地域包括職員基礎研修、地域包括ケア推進に係る研修、成年後見制度市町長申立実務)

⑤その他 6日 延べ 11名

(老人クラブ事務担当者・新任会長研修会、老人クラブ会長研修会、実習生受入協力事業所説明会、認知症ネットカフェ視察研修、生活支援サービス先進地視察)

計 67日 延べ 79名

2 地域福祉推進事業

(1) 地域での福祉を推進する基盤づくり

地域での福祉問題を共有し解決を図るために「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画の推進に取り組んだ。

①街づくり検討会の開催

地域福祉活動計画において、住民の声として、把握された「居場所づくり」や「要支援者の見守り」活動の課題が明確となり、地域での取り組みについて、意見交換を開催した。

- ・宇佐美地区街づくり検討会 11回開催（女性連盟、民生委員、保健委員、宇佐美包括等）
 - ・湯川地区街づくり検討会 1回開催（区長、女性連盟、民生委員、保育園、食推協、伊東包括）
- ②宇佐美の居場所「ほのぼのサロン」の開催
- ・開催場所 城宿町会館
 - ・開催回数 12回
 - ・延参加人数 380名
- ③対島地域ふるさと協議会の運営協力

伊豆高原十字の園が中心となり対島地域の福祉連携を目的に地域の福祉課題を共有し、問題解決の協働活動の組織づくりへの事務局に参加した。

(2) ボランティアニーズの需給調整

ボランティア活動を希望する個人・団体と支援を求める施設等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行うとともに地域のニーズ把握に努め、ボランティアの育成等活動の推進を図った。

相談件数	幹		旋	
	施設向け	在宅向け	その他	合計
28件	20件162人	3件 4人	3件 30人	26件196人

(3) ボランティア講習会・研修会の実施

①ボランティア研修会

ボランティア協会会員及びボランティアセンター登録者、施設職員を対象にボランティア活動の活動報告、意見交換の研修会を開催した。

- ・日 時 平成28年5月13日(金)13:30～15:30
- ・場 所 伊東市保健福祉センター2階 集会室
- ・内 容 市内社会福祉施設との意見交換を通して、今日求められるボランティア活動や活動上の課題について、グループワークを通じて、意見交換を実施した。
- ・参加者 47名（ボランティア協会27名、ボランティアセンター登録者14名、施設職員6名）

②ボランティア講習会

- ・日 時 平成28年10月6日(木)・7日(金) 13:30～16:30
- ・場 所 伊東市役所 2階 中会議室
- ・内 容 視覚障がい者への接し方など基礎講座及び市街地での実習
- ・参加者 20名

③福祉体験学習及びボランティア育成事業 (市委託事業)

中高校生を対象に福祉体験学習及びボランティア育成事業を実施した。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	参加者数
平成28年 8月2日(火) 8月9日(火) 9月4日(日) 9月25日(日)	中高生夏季福祉体験講座	街づくりプロジェクトへの参画をとおし、福祉への関心を深めた。 (高校生20名、中学生 9名、スタッフ15名)	44名

④街づくりプロジェクト

市内の観光・商工・福祉に関して市民の協力のもと、地域の生活者の視点から暮らしやすい街づくり（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）への理解を広めた。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	参加者数
平成28年 7月14日 7月21日、9月 8日 平成29年 1月19日 1月30日、3月 2日 於：伊東高校	街づくりプロジェクト検討会	中高生の参加を踏まえた調査内容の企画・運営、発表、意見交換、ホームページ公開に向けた準備作業を行った。	延120名
平成28年 8月 2日 8月 9日、9月 4日 於：大室山城ヶ崎海岸	街づくりプロジェクト調査	中高生によるバリアフリー・観光施設等の調査を行った。	延 44名
再掲（③福祉体験学習及びボランティア育成事業）			
平成28年 9月25日 於：伊東市役所	街づくりプロジェクト活動発表	ふれあい広場において夏季の調査報告を行った。	延 20名
再掲（③福祉体験学習及びボランティア育成事業）			
平成29年 3月11日 於：県総合社会福祉会館	街づくりプロジェクト活動報告並び意見交換会	ふじのくにUD特派員活動報告会において、街づくりプロジェクトの報告、意見交換を行った。	延 20名
平成29年 3月20日 於：健康福祉センター 伊豆オルゴール館	街づくりプロジェクト・障がい者交流事業（育成会との交流）	市内観光施設での障がい者とのレクリエーションを通して交流を図った。	延 36名 (障がい者18名、中高生11名、スタッフ・保護者7名)

⑤シンポジウム等開催事業（市委託事業）

福祉のインターシップの推進（いとう創造大賞）を目的に施設見学及びシンポジウムを開催した。

○施設見学会の開催

中高生を対象に市内福祉施設を見学し、施設職員により日々の福祉の仕事ややりがいについて学び、福祉職の理解を深めた。

- ・開催日 平成29年3月22日（水） ・見学施設 伊東の丘、十字の園
- ・参加者 22名（高校生3名、中学生17名、スタッフ2名）

○福祉の仕事についてのシンポジウム

夏季に実施した福祉体験プログラム参加者、施設見学参加者からの活動報告、施設職員との意見交換会を開催した。

- ・開催日 平成29年3月25日（土） ・開催場所 伊東市健康福祉センター2階
- ・参加者 35名（一般9名、施設職員7名、高校生1名、中学生4名、教職員2名、行政3名、社協7名、スタッフ2名）

(4) ボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）の開催

ボランティアグループ11団体で構成するボランティア協会のボランティア相互の交流と情

報交換を行った。

- ・定例会の開催 11回
- ・その他（ボランティア研修） 1回

(5) 災害ボランティアネットワーク事業

①生活支援サポーター養成講座において、防災・減災に関する講座へ職員を派遣した。

- ・派遣日数 2日（平成28年8月26日、11月29日）

②市内介護保険事業者への防災に関する啓発等へ職員を派遣した。

- ・平成28年9月21日 訪問部会

③防災講座への職員を派遣した。

平成29年3月6日、伊東市役所2階会議室において、市内の災害対策関係団体により防災・減災の理解するための防災カードゲーム「クロスロード」を実施し、参加者により意見交換を図った。

(6) ボランティア保険の加入促進

ボランティアの活動中の事故に備えて、保険の加入促進を行った。

- ・保険加入者数 41団体 946人、個人19人
- ・ボランティア行事用保険 33件 1,730人

(7) 福祉教育資材の整備並びに貸出と情報提供

福祉教育や研修会を行う際に福祉機器、資料、講師の紹介等情報提供を行った。

- ・福祉体験学習の指導 21件
- ・福祉機器の貸出 5件
- ・講師の紹介 12件
- ・福祉の情報提供 3件

(8) 第35回ふれあい広場の開催

障がい者、子どもから高齢者まで地域で暮らす人々の交流を図り、福祉関係団体、福祉施設、ボランティアによる作品展示、模擬店等を通じて、福祉への理解と関心を深めた。

- ・開催日 平成28年9月25日(日)
- ・会場 伊東市役所
- ・参加者 4,000人

(9) 第40回伊東市社会福祉大会の開催

永年にわたり社会福祉に貢献された方や団体・機関へ表彰・感謝をするために表彰式典を開催し、被災地の復旧・復興支援活動をテーマに講演会を通して、地域福祉の啓発を図った。

- ・開催日 平成28年6月25日(土)
- ・会場 市役所8階大会議室
- ・参加者 200人
- ・講演 「平成28年熊本地震支援活動報告について」
- ・講師 伊東市役所 収納課収納係 主査 菊地 大仁 氏

3 在宅福祉推進事業

(1) ひとり暮らし高齢者交流会（ふれあいの楽しみ会）の実施

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に地区別6回、参加者283人で市内景勝地(小

室山)において、ウォーキングやレクリエーションを行い、介護予防とともに参加者相互の交流を通しての孤独感の解消を図った。民生委員(62人)の参加も年々増加しており、地域でのつながりを深めている。

(2) ひとり暮らし高齢者等見守り事業

市内(湯川・松原・玖須美・岡・鎌田)において、ひとり暮らし高齢者等を対象に地域での孤立しないよう2か月に1回程度の自宅を訪問し、安否確認を実施した。

見守り世帯数	見守り活動協力者	延べ訪問回数
1世帯	1名	6回

(3) 総合相談及び心配ごと相談所の運営

①心配ごと相談(毎週水曜日午後1時30分～4時・伊東市保健福祉センター)

民生児童委員・市女性相談員が市民からの日常生活で抱える課題の相談に応じ、問題解決のための助言及び他機関の紹介を行った。相談件数は減少しているが、生活困窮や離婚、家族の病気など気軽に相談できる人がなく、問題が多様かつ多重になってきている。

相談事項状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・児童福祉	教育青少年	心身障害者福祉	老人福祉	苦情	DV	その他	合計
所内解決	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
他機関紹介	5	0	0	3	2	0	2	3	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	3	22
合計	6	0	1	3	2	0	3	3	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	5	27

②総合相談(毎週月曜日～金曜日 祝祭日を除く)

相談事項状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・児童福祉	教育青少年	心身障害者福祉	老人福祉	苦情	DV	その他	合計
所内解決	268	0	20	5	0	0	1	0	99	0	11	0	0	24	14	101	5	0	127	675
他機関紹介	13	0	2	4	8	0	14	3	0	15	41	0	0	1	2	0	9	0	14	126
合計	281	0	22	9	8	0	15	3	99	15	52	0	0	25	16	101	14	0	141	801

(4) 無料法律相談

静岡県沼津弁護士会の協力により無料弁護士相談を毎月第2・第4火曜日保健福祉センターにて、市民から相談における法的ニーズに対応した。本年度は、相談件数は5件増加しており、相談内容は相続、不動産、離婚の順に多くなっている。

実施日数 22日(中止2日:申込状況による) 相談件数 102件

4 受 託 事 業

(1) 保健福祉センター（老人福祉施設）の受託運営（指定管理期間：平成28年度）

指定管理制度である高齢者の健康づくり・介護予防を目的とする施設運営を行った。

① 使 用 者 数 18,183名

内訳：老人 6,497名、各種相談 1,793名、市関係 8,351名、福祉団体 1,542名

② 開 館 日 数 244日 ③ 一日平均利用者数 74.5人

(2) 健康福祉センターの受託運営

新施設の管理と4月1日以降の利用申込案内業務の受託運営。

①受託期間 平成29年3月1日～3月31日

②開館日数 31日

②利用者数 3,795人（一日あたり122.4人）

(3) 介護予防拠点施設シニアプラザ湯川・くすみの受託運営（指定管理期間：平成29年度～平成33年度）

市内2カ所の高齢者の生きがい活動や健康増進などの介護予防施設を拠点に仲間づくりを通して、生活の活性化を目的に施設の管理運営を行った。

① 延 開 館 日 数 480日（湯川 238日、くすみ 242日）

② 平 均 開 館 日 数 240日

③ 延 利 用 人 員 10,820人（湯川 4,370人、くすみ 6,450人）

④ 平 均 利 用 人 員 5,410人

⑤ 実 施 内 容 手芸教室、書道教室、カラオケ教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、
絵手紙教室、介護予防体操、麻雀、太極拳

(4) 介護予防・生きがい活動支援事業の受託運営（運営期間：平成28年4月1～平成29年2月21日）

新保健福祉センター建設のため廃止されたシニアプラザ桜木の代替場所として伊東湯川幼稚園跡を一時借り受けての受託事業を実施した。

① 延 開 館 日 数 216日

② 延 利 用 人 員 3,662人

③ 実 施 内 容 手芸教室、書道教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、介護予防体操、
麻雀、太極拳

(5) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の方を対象に体力や筋力低下を防ぐために介護予防と生活機能の向上を目的に、介護予防チェックリストによる参加者の状態に合わせ、一次・二次の体操教室を開催した。

①一次予防教室（1教室10回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
7教室	鎌田温泉会館、ひぐらし会館、湯川幼稚園、泉会館、商工会議所	70回	134人	1,017人

②二次予防教室（1教室12回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
2教室	保健福祉センター	24回	18人	162人

(6) ファミリーサポート事業（子育て支援）の受託運営

子育ての支援を受けたい人(依頼会員)と支援する人（支援会員）、その両方を兼ねる人（両方会員）が会員として登録し、小学低学年までの子を対象に支援会員が自宅での預かり、保育園の送迎などの助け合いを通して、子育て世帯への支援を実施した。

① 会員登録数 228名（依頼会員164名、支援会員58名、両方会員 6名）

② 支援活動実績 依頼件数 982件 支援件数 730件

内訳	依頼及び支援内容	依頼件数	支援件数
	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	36件	26件
	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	210件	140件
	学童の放課後の預かり	2件	2件
	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	45件	41件
	学童保育からの帰宅後の預かり	9件	9件
	子どもの習い事等の場合の援助	124件	112件
	保育所・学校等休み時の援助	2件	2件
	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	442件	318件
	保護者の求職活動中の援助	2件	2件
	保護者の冠婚葬祭、学校行事参加のための預かり	6件	5件
	保護者等の外出する場合の援助	36件	28件
	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	3件	3件
	小学校、学童保育所等の開始前の預かり及び送り	9件	4件
	他の子どもの世話や用事の場合の援助	20件	16件
	育児補助	12件	6件
	家事を済ませる場合の援助	1件	1件
	産褥期の援助	15件	8件
	慣らし預かり	7件	6件
	その他	1件	1件

③支援会員の養成

・開催回数 2回

・開催日時 第1回 支援会員講習会（平成28年 6月29日（水） 9:00～16:00）

第2回 支援会員講習会（平成28年10月31日（月） 9:00～16:00）

- ・参加者数 12名（第1回 4名、第2回 8名）
- ・内 容 子どもの接し方・遊び方、子どもの病気とその看護、子どもの食事と栄養気になる子どもと保護者の関わり方
- ・講 師 市健康医療課 保健師2名、栄養士1名、ファミサポ保育士1名

④会員の情報交換及び交流会

- ・情報紙「ファミサポ通信」の発行（220部）： 年間2回（10・2月）
- ・会員交流会

平成29年2月3日（土）10:00～12:00保健福祉センターにおいて、17名の参加により会員の交流を実施した。

⑤その他の活動

- ・宅児ボランティア（支援会員3名・アドバイザー7名）
旭小において、父兄会の際に校内での子どもの宅児を実施。（年間5回）
- ・イベント参加
事業内容の啓発のために「ふれあい広場（平成28年9月25日）」のイベントでのブースを設置した。

(7) 地域包括支援センターの受託運営

保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員等の8名を配置し、地域包括ケアの基盤整備、総合相談支援、権利擁護、介護予防への取り組み包括的・継続的ケアマネジメント支援といった地域包括ケアにおけるマネジメントを担う中核機関として活動を進めるとともに広野分室で地域の高齢者の居場所づくりとして、サロン活動の運営等次のような事業を実施した。

① 総合相談支援・権利擁護（虐待の防止）

高齢者のニーズを把握し、総合的な相談・支援を行い、また、高齢者の人権や財産を守るため、関係機関と連携し、高齢者の虐待防止や権利擁護に努めた。

・相談件数と相談経路

相談方法	来 所	電話・FAX等	訪 問	その他	合 計
相談件数	209人	1,970人	1,740人	108人	4,027人

・主な相談内容

医療・在宅介護・認知症高齢者に関する相談とともに、体調変化の不安や精神的な支えを求め相談内容が著しく増えており、地域や家族とのつながりや支援を受けられない孤立した状況が伺われる。

- ・介護保険に関する相談
- ・医療に関する相談
- ・在宅介護に関する相談
- ・介護予防に関する相談
- ・施設入所に関する相談
- ・認知症高齢者に関する相談
- ・家族、経済問題等の相談
- ・制度利用の申請代行
- ・ケアマネジャーの支援
- ・権利擁護成年後見制度に関する相談
- ・住宅改修に関する相談

② 共通的支援の基盤構築

地域に総合的なサービスネットワークの構築のため、関係機関・団体との調整を図った。

運 営 状 況	回数	運 営 状 況	回数
地域ケア会議	9	関係団体との会議	29
包括会議	4	相談協力員	0
包括部会（三職種）	34	研修会	10
その他(介護予防教室、サロン行事)	49		

③ 包括的・継続的マネジメント支援

高齢者に継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援した。

- ・ケアマネジメントへの支援 69回

④ 介護予防マネジメント

要介護認定の要支援1、2に該当する高齢者（予防給付）、特定高齢者（介護予防事業）に対して、介護予防サービス計画を作成するとともに計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関と連絡調整を行った。

- ・新予防給付ケアプラン作成状況

年間延作成件数 3,270件(直営 1,410件、委託 1,860件)

- ・特定高齢者介護予防プラン作成状況

作成件数 19件

⑤ 地域包括支援センターなごみ分室及びサロン事業“しゃべり場”の運営

地域の福祉の拠点として福祉総合相談支援事業及び高齢者はじめ地域の人々が交流を図る場所づくりを設置し、気軽に立ち寄り、介護予防の体操、ゲーム、談話を楽しみながら、地域の絆づくりを深めるサロンを実施した。

①開設日時 月曜日～金曜日(祝祭日及び12月29日～1月3日を除く。) 10時00分～16時00分

②年間開設日数 241日

③年間利用者 8,379人(男性2,453人 女性5,926人)※一日平均34.8人

(8) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業） [県社協委託事業]

高齢による認知機能の低下や障害から判断能力が不十分なため、安心して暮らせるように福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施した。

① 会議及び研修

成年後見制度市町長申立（支援）に係る実務研修

- ・日時 平成28年 12月2日
- ・場所 レイアアップ静岡駅前山ノ口ビル

② 相談件数 193件

内訳：認知症高齢者 109件、知的障がい者 0件、精神障がい者 52件、その他 32件

③ 訪問・調査件数 74件 ④ 契約締結件数 2件 ⑤ 生活支援員数 5名

(9) 生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

伊東市内の生活困窮者や社会的孤立者に対して生活保護に至る前の段階の経済的・社会的自立を目的に伊東市健康福祉部社会福祉課内に自立相談支援事業所「伊東市暮らし相談センター ころろ」を開設。主任相談支援員1人・相談支援員1人を配置し支援を実施した。

①情報提供・相談対応 33人（前年度比27人減）

相談支援員の助言により相談者の生活上問題を解決支援した。

相談内容	人数
仕事について（就労・就職活動）	16人
家計相談（滞納・未納・債務）	3人
育児・教育について	0人
住宅の問題（売却・改修・転宅）	1人
福祉・医療について（費用・要望）	3人
本人・家族の問題（病気・障がい・離婚・相続）	10人
計	33人

②他制度・他機関へのつなぎ支援 42人（前年度比4人増）

相談者の課題を把握し他制度・機関と連携しながら支援を実施した。

相談内容	つなぎ先機関	人数
本人・家族の問題(病気・障がい)による生活困窮	社会福祉課生活保護係	5人
年金受給・就労開始までの生活		2人
所持金がない・住居がない又は喪失する恐れがある		8人
年金相談（低額・無年金の生活）		1人
本人・家族の相談（病気・障がい等）	社会福祉課障害係・子育て支援課・サポートいとう・心療内科・他市自立相談支援事業所	6人
障がい者の就労支援	障がい者就業・生活支援センター	4人
高齢による生活上の問題（病気・認知症疑い等）	高齢者福祉課 地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 有料老人ホーム	10人
住居を喪失する恐れがある	不動産業者	1人
育児相談	幼児教育課・子育て支援課	2人
本人・家族の債務について	法律相談・法律事務所	0人
融資の相談	社会福祉協議会・商工会議所	3人
計		42人

※相談者の課題が重複している場合は相談者の主訴を計上した。

③支援プランの作成 31人（前年度比6人減）

相談受付後、支援の申込みがあった相談者に対して、相談者の経済的自立・社会的孤立からの脱却を目標に支援プランを作成。生活困窮者自立支援事業法に基づくその他の事業及び関連する事業と連携して支援を実施した。

【プラン作成者の支援内訳】

事業・制度名	支援内容	利用回数
ワークライフサポート事業 生活保護受給者等就労自立促進事業	ハローワークの個別就労支援	19回
住居確保給付金	住居喪失又は恐れのある者への家賃給付	8回
就労準備支援事業	就職活動前の生活習慣の改善等の支援	4回
生活福祉資金貸付制度	生計維持を目的とした貸付による支援	1回
自立相談支援事業（こころ）	就労・意欲喚起・通院同行・家計相談等の支援	18回

④支援調整会議の開催 31回（前年度比7回減）

市担当職員、支援実施機関担当者、社会福祉協議会担当係長、自立相談支援員で構成し、本会議にて相談者の支援プラン（案）を確定（決定・確認・評価・終結）した。

支援プランの決定	31件
支援プランの評価	29件
支援プランの終結	19件

(10)生活支援サービス推進事業

介護予防・日常生活支援総合事業において、高齢者を地域で支える仕組みづくりや助け合い活動を進める生活支援サービス提供体制づくりを行った。

①生活支援サービスサポーター養成講座の開催

市高齢者福祉課、地域包括支援センター等の協力により市民を対象に生活支援の担い手の養成を図った。

回数	開催日	場所	受講者	内容
第1回 (3日間)	8月19日(金)、8月26日(金)、 9月2日(金) 計9時間	生涯学習センターひぐらし会館	40人	福祉制度説明、地域課題の理解と地域づくり、高齢者の理解、防災、援助技術（家事援助、コミュニケーション、レク技術）の理解
第2回 (3日間)	11月24日(木)、11月29日 (火)、12月6日(火)計9時間		22人	
計	2回 6日間 計18時間		62人	

②生活支援サポーターの登録状況

生活支援サポーター養成講座終了者のうち、支援活動への協力者の登録を行った。

登録者数	34人	登録圏域	宇佐美圏域4人、伊東圏域9人、中央圏域1人、小室圏域12人、対島圏域8人
------	-----	------	--------------------------------------

③生活支援サービス意向調査

養成講座修了者62人を対象に生活支援サービスに係る意向を調査した結果、6割弱の37の方が活動を希望し、9人が活動を保留、15人が活動を希望しない、その他1人との回答であった。

④事業推進及び地域づくりのための啓発活動

1) 介護支援専門員資質向上研修会での事業説明

- ・日時 平成28年8月5日(金)
- ・場所 伊東市役所

2) 対島地区圏域 介護支援専門員交流会での事業説明

・日時 平成28年11月22日(火) ・場所 伊豆高原十字の園

3) 市老人クラブ連合会福祉員研修会での事業説明

・日時 平成28年11月30日(水) ・場所 伊東市保健福祉センター

5 公益事業（職員派遣事業）

(1) 中央地域包括支援センターへの職員派遣事業を実施した。

- ① 派遣職員 3名（主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、介護支援専門員 1名）
- ② 派遣業務 地域包括支援センター総合相談業務及びケアプラン作成業務
- ③ 派遣先 伊東市役所 高齢者福祉課内
- ④ 派遣期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

(2) 在宅医療介護連携・認知症総合支援事業への職員派遣事業を実施した。

- ① 派遣職員 1名（保健師、看護師）
- ② 派遣業務 医療と介護連携のための連絡調整及び認知症の理解及び地域支援
- ③ 派遣先 伊東市役所 高齢者福祉課内
- ④ 派遣期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

6 共同募金事業

(1) 静岡県共同募金会 伊東市共同募金委員会（委員数30名）の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成28年 5月23日 (出席者26名)	平成27年度事業報告並びに寄付金会計・事務費会計決算の認定について
平成28年 8月31日 (出席者25名)	会長・副会長の選任について、平成28年度共同募金(赤い羽根)実施計画の認定、平成28年度県共同募金の申請状況の報告
平成28年11月30日 (出席者26名)	平成28年度共同募金(赤い羽根)の結果報告、平成28年度歳末たすけあい運動の実施・配分基準並びに配分総額について
平成29年1月30日 (出席者26名)	副会長の選任について、平成28年度歳末たすけあい運動募金の実績及び配分結果報告
平成29年3月29日 (出席者27名)	副会長の選任について、平成28年度寄付金会計・事務費会計補正予算、平成29年度事業計画並びに寄付金会計、事務費会計予算の認定

(2) 共同募金（赤い羽根）運動

①募金目標額と実績額

区長、民生児童委員、町内会長・会計、女性連盟、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力により、市民各世帯や会社、商店、篤志家、団体等市民から寄せられた募金。

(単位 円)

県目標額 (広域目標額)	市目標額 (地域目標額)	区 分 別 実 績 額				合 計
		個 別	大 口	街 頭	窓 口	
2,960,000	7,000,000	4,176,720	1,579,422	157,306	217,180	6,130,628

②県共同募金会から本市共同募金会に交付される配分金額（平成28年度募金実機による配分）

配 分 先	金 額	摘 要
本市社会福祉協議会	3,195,534円	平成29年度地域福祉活動事業助成金
事 務 費	318,200円	赤い羽根事務費224,200円、歳末たすけあい94,000円
合 計	3,513,734円	

(3)歳末たすけあい運動

①募金実績額

目標額には達しているが、募金実績額は前年より下回っている状況である。

目 標 額	区 分 別 実 績 額			合 計
	大 口	街 頭	窓 口	
3,000,000円	1,261,000円	626,281円	907,580円	2,794,861円

②配分内容

生活に困窮する世帯(第二種世帯)を申請制度にしたことにより、前年より減少した。

配 分 対 象	配 分 金 額	摘 要
第 二 種 世 帯	1,441,000円	第二種世帯86世帯223人、第二種新入学児童9人
在 宅 障 害 者	448,000円	特別障害者手当受給者 52人、精神障害者12人
在 宅 障 害 児	161,000円	障害児福祉手当受給者 23人
交 通 遺 児	0円	交通遺児 一人
在宅ねたきり老人	392,000円	在宅ねたきり老人 56人
配 分 経 費	50,975円	通信運搬費、消耗品
平成29年度事務費	94,000円	次年度事務経費準備金
合 計	2,586,975円	

※募金実績額と配分総額（次年度運動準備金並びに配分諸経費を含む。）の収支差207,886円は、次年度の赤い羽根共同募金配分金事業費に充当される。

(4) 老人福祉活動事業

老人クラブ連合会助成事業

老人クラブ連合会の運営と事業を補助することにより高齢者の生きがいの創出並びに老人クラブ連合会活動のために助成を行った。

- ・老人クラブ連合会運営費及び事業費補助
- ・老人クラブ連合会ゲートボール大会
- ・老人クラブ連合会演芸大会
- ・老人クラブ連合会交流懇親会

(5) 障害児・者福祉活動事業

- ・手をつなぐ育成会への助成

(6) 児童・青少年福祉活動事業

① 児童健全育成費助成事業

児童の健全な育成のために活動する15区の子ども会育成連絡協議会に対し、総額757,500円の助成を行った。

② 子どもの遊び場助成事業（申請なし）

(7) 福祉団体育成・生活支援事業（低所得者世帯援護事業）

① 福祉団体助成事業

本会と協働して、地域福祉活動を進める関係機関・団体に助成した。

・配分対象 12団体 配分額 1,017,000円

② 災害見舞金支給事業（風水害、火災等により被災された世帯に対して見舞金の支給）

・支給なし

③緊急食糧配布事業

その日の食べ物にも事欠くという緊急性の高い経済的困窮が増加しており、2日分の食糧支援を行った。

・利用者 12人 ・延利用回数 17回 ・配布食数 18食

7 貸付金事業

他機関からの借入れが困難な低所得世帯を対象に、民生委員児童委員と連携を図り、緊急に生活費を必要とする世帯に資金の貸付と相談援助を行い、世帯の自立のための支援を行った。

(1) 応急貸付資金貸付事業

低所得者世帯に対し、無利子で生活費（原則3万円）を貸し付け、経済的支援を行った。

なお、貸付金額は前年比44.8%減であり、償還率は58.0%となっています。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額			未回収金額	欠損処分類
	現年度分	回数	金額		
44件 1,147,000円 (前年度82件2,079,500円)	現年度分	45回	665,000円	482,000円	0円
	過年度分	37回	380,000円	7,552,420円	0円
	計	82回	1,045,000円	8,034,420円	0円

※償還回数は、1件の貸付に対し、最長5カ月以内での償還であることから償還回数が上回る。

(2) 高額療養費資金貸付事業

高額医療費の支払いに困窮する国保被保険者に対し、無利子で資金を貸し付け生活の安定を支援した。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額			未回収金額	欠損処分類
	現年度分	回数	金額		
38件 6,166,000円 (前年度23件3,690,000円)	現年度分	24回	3,808,000円	2,358,000円	0円
	過年度分	4回	581,000円	475,625円	0円
	計	28回	4,389,000円	2,833,625円	0円

(3) 生活福祉資金貸付事業

[県社協委託]

本貸付制度は県社会福祉協議会が実施主体として、市社会福祉協議会が窓口となって、離職者、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、それぞれの世帯に応じた資金の貸付を行った。

種 別	件数	貸付金額	貸付対象者	貸付の内容	
総合支援 資金	生活支援費	0件	0円	低所得者世帯	生活再建のための生活費
	住宅入居費	0件	0円		住宅賃貸契約の費用
	一時生活再建費	0件	0円		公共料金、転居費用等
福祉資金	福祉費	1件	58,000円	低所得者世帯 障害者世帯	生業を営む資金、技能取得 介護サービス費用、転居費用、
	緊急小口資金	4件	320,000円	高齢者世帯	一時的な生活費
教育支援 資金	教育支援費	1件	3,348,000円	低所得者世帯	就学に必要な経費
	就学支度費	0件	0円		入学に際し、必要な経費
不動産担保 型生活資金	不動産担保型 生活資金	0件	0円	高齢者世帯	不動産を担保に老後の生活 資金の貸付
計		6件	3,726,000円		

※貸付利率：連帯保証人がある場合及び緊急小口、教育資金は無利率、連帯保証人がない場合は年利1.5%。不動産担保については年利3%又は4/1現在長期プライムレート金利。

(4) 臨時特例つなぎ資金

公的給付制度又は公的貸付制度の開始までの生活に困窮する離職者で住居を喪失していることを条件に無利率で一時的な生活費（10万円以内）の貸付を行い、離職者の支援を行った。

件数	貸付金額	対象者	貸付の内容
0件	0円	住居損失の離職者	公的給付金又は公的貸付金の交付を受けるまでの生活費

8 指定訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう身体介護や生活援助等のホームヘルプサービスを提供した。

- ① 配置職員数 常勤4名・非常勤10名（非常勤3名・登録7名）
- ② 年間延利用者数 768人（前年比 112人増）
- ③ 1か月あたり利用者数 64.0人（前年比 9.4人減）
- ④ 年間サービス提 7,914.4時間（前年比 629.2時間増）

内訳	区分	身体介護	身体生活	生活援助	予防介護
時間数		1,369.0時間	2,491.3時間	2,081.9時間	1,972.2時間
構成比		17.3%	31.5%	26.3%	24.9%

- ⑤ 1か月あたりサービス提供時間数 659.5時間数（前年比 52.5時間増）

9 居宅介護支援事業

利用契約された要支援高齢者に対し、個々の解決すべき課題に応じた介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、要支援者の自立支援を行った。

- ① 配置職員数 常勤4名（内1名嘱託）

② 年間延作成数 971プラン (前年比 77プラン減)

内訳	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	作成数	367	309	145	95	55
	構成比	37.8%	31.8%	14.9%	9.8%	5.7%

③ 1カ月あたり作成数 80.9人 (前年比 6.4人減)

④ 介護予防プランの受託 (地域包括支援センターからの受託事業)

介護保険における予防給付の対象となる要支援者に対し、介護予防サービス計画を作成し、サービスの需給調整を行った。

介護予防プラン年間延作成数 44プラン (前年比36プラン増)

⑤介護認定調査 (委託事業) 21件 (前年比19件増)

10 指定訪問入浴事業

(1) 指定訪問入浴事業の運営

要介護者の自宅において、移動入浴車による入浴サービスの提供を行った。

① 配置職員数 常勤3名(看護師2名、介助員1名)・非常勤3名(介助員)

② 年間延利用者数 159人 (前年比 87人減)

③ 1ヵ月あたり利用者数 13.3人 (前年比 7.2人減)

④ 年間実施回数 752回 (前年比 472回減)

⑤ 1ヵ月あたり実施回数 62.7回 (前年比 39.3回減)

(2) 障害者訪問入浴事業の受託

行政の委託により在宅重度障害者への移動入浴サービスを実施した。

年間派遣 実人員	年間派遣 延世帯数	年間延 実施回数	1ヶ月平均 実施回数
2名 (前年と同じ)	24世帯 (前年比 同世帯)	193回 (前年比 6回増)	16.1回 (前年比0.5回増)

11 福祉用具貸与事業 (平成28年8月1日事業廃止：平成28年4月から7月実績)

(1) 指定福祉用具貸与事業の運営

要支援・要介護者へ自立した日常生活と介護負担の軽減を図るために福祉用具の貸与を行った。

① 配置職員数 3名 (兼務)

② 年間延利用者数 52人 (前年比 206人減)

③ 1ヵ月あたり利用者数 13人 (前年比 8.5人減)

④ 年間貸与品目数 231品目 (前年比 862品目減)

内訳	品名	車椅子	特種寝台	エアーマット	その他
	数量	39	159	7	26

⑤ 1ヵ月あたり貸与品数 57.7品目 (前年比 21.1品目減)

(2) 身体障害者福祉用具貸与事業の運営

介護保険非該当の高齢者並びに在宅障害者に対し、福祉用具の貸与を実施した。

車椅子	ポータブルトイレ	歩行補助具	その他の福祉用具
83件	13件	0件	5件

※その他の福祉用具：シャワーチェア、杖

1.2 障害福祉サービス

日常生活を営むのに援助が必要な身体障害者及び知的障害者・児童、精神障害者へホームヘルプサービス事業を実施した。

(1) 居宅介護事業

- ① 実利用人員 18人 (前年比5人減)
- ② 年間延利用人数 249人 (前年比27人減)
- ③ 年間サービス提供時間数 3,610.5時間 (前年比39.5時間増)

提供時間数 内訳	区分	身体介護	家事援助	同行援護
	時間数	1,081.5時間	1,801.5時間	727.5時間
	構成比	30.0%	49.9%	20.1%

1.3 その他

その他、地域福祉推進のために関係機関・団体との連絡調整及び協力・支援を行った。

- (1) 伊東市遺族会が実施する戦没殉難者慰霊祭（実施日 平成28年5月31日（火） 会場 小室山公園）の式典運営への協力を行った。
- (2) 伊東市介護保険事業者連絡会の事務局として、運営への協力を行った。

以上